

年頭のあいさつ



石井議長



中野副議長

不自由な思いを掛けたことと思えます。そうした中で、姉妹縁組をしている北海道七飯町から「友情の水」が届きました。本当に心温まることでありました。そのご厚情に感激するとともに、七飯町の皆様方に厚くお礼申し上げます。

大きく、地方分権の推進とともに三位一体改革が進められようとしています。地方の行財政運営における自主性と自立性を高め、なわらぬ層町民福祉の向上に努め、住みよい町づくりに向け、議会としても取り組んで参る所存であります。

新年あけましておめでとつございます。

平成18年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

町民の皆様方には、日頃町政に対する温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、平成6年以来の渇水で香川県内はもろろん三木町においても町民の皆様は大変

国の18年度の予算案も8年ぶりに80兆円を割り込む緊縮型となり、地方自治体への影響も

成ぬく」と言われておりますが、今年には災いのない年であることを望みます。

改めて水の大切さを痛感し、今後も自己水源確保に真剣に取り組んで行かなければならないと考えております。

改めて水の大切さを痛感し、今後も自己水源確保に真剣に取り組んで行かなければならないと考えております。

結びになります。市民皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

結びになります。市民皆様方の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

新しく環境保全対策特別委員会を設置

特別委員会の構成は、次のとおりである。
(○委員長 ○副委員長)

環境保全対策

- 谷本 サクミ
- 糸目 隆光
- 山本 繁
- 香西 茂知
- 香西 俊之
- 白井 正治

下水道推進

- 宮武 貞夫
- 香西 義典
- 古市 弘
- 古市 嘉忠
- 三宅 貞夫
- 三木 和則

行財政改革推進

- 西丸 一明
- 筒井 米市
- 溝渕 清美
- 原田 照治
- 谷畑 健二
- 芳岡 一美

教育委員会委員に久保氏を再任



久保高明氏

平成9年12月就任以来、3期目。

人権擁護委員に2氏を再任



安西 清氏

平成9年2月就任以来、4期目。



高重裕子氏

平成12年3月就任以来、3期目。

大字水上(64歳)

議会の動き

- 10/3 香川県広報発行町議会編集委員研修会
- 6 議会広報編集委員会 全員協議会
- 18 議会広報編集委員会 議会広報編集委員会 全員協議会
- 21 全員協議会
- 11/1 決算特別委員会 議会広報編集委員会
- 2 決算特別委員会
- 4 決算特別委員会
- 7 決算特別委員会 (現地調査)
- 8 香川県町議会議員研修会 議会運営委員会
- 9 議会特別委員会(総括)
- 11 決算特別委員会(総括) 全員協議会
- 16 第3回臨時会
- 20 下水道推進特別委員会
- 29 教育民生常任委員会
- 30 建設経済常任委員会
- 12/1 行財政改革推進特別委員協議会
- 7 議会運営委員会
- 14 第4回定例会開会 (議案の上程)
- 15 議会広報編集委員会 教育民生常任委員会 総務常任委員会 本会議
- 19 (内容説明、質疑、一般質問) 議会運営委員会 本会議
- 21 議会(議案の討論採決) 全員協議会
- 28 全員協議会 (追加議案の上程採決) 本会議



12月定例議会の模様

12月定例議会

5億3,334万円余を追加

主な内容としては、歳入で国からの補助金として次世代育成支援対策施設整備交付金が3,037万円余、讃岐地区広域消防組合の解散に伴う精算金として3億8,371万円余、教育関係に使用して欲しいとの匿名での寄付金1億円などである。

歳出では、砂入保育園改築工事に4,556万円余、高松市消防事務委託料8,109万円余を含む常備消防費に2億5,312万円余、消防機材整備基金に6,260万円、匿名での寄付金1億円のうち三木中学校吹奏楽部の楽器購入費に1,900万円、残りの8,100万円を公共施設整備金として積み立てした。

- 匿名寄付 学校に1億円
- 包括支援センター関係に4,288万円余
- 消防事務委託料関係に2億5,312万円余

補正の主な内容

一般会計予算総額
106億5,386万円余に

平成17年第4回定例議会は、12月14日から28日までの15日間の会期で開かれ、高松市との消防業務の事務委託に関する規約の制定など27議案が上程され全議案可決した。決算特別委員会に付託されていた平成16年度の各会計決算については、本会議において認定した。

一般質問では5人が登壇し、財政問題、市町村合併問題、社会問題となっている子どもへの安全対策について、ウエルサンピアさぬきの存続、介護保険問題、総合型地域スポーツクラブなどについて当局の姿勢をたずねた。

16年度決算に対し8項目の指摘意見

(決算特別委員会)



▲練習に励む三木中学校吹奏楽部

議員出欠表

(本会議のみ)

議員氏名	12/14	12/19	12/21	12/28
三木 和則	○	○	○	○
香西 義典	○	○	○	○
白井 正治	○	○	○	○
三宅 貞夫	○	○	○	○
芳岡 一美	○	○	○	○
香西 俊之	○	○	○	×
古市 嘉忠	○	○	○	○
香西 茂知	○	○	○	○
西丸 一明	○	○	○	○
谷畑 健二	○	○	○	○
糸目 隆光	○	○	○	○
宮武 貞夫	○	×	×	×
谷本サクミ	○	○	○	○
古市 弘	○	○	○	○
原田 照治	○	○	○	○
筒井 米市	○	○	○	○
山本 繁	○	○	○	○
溝淵 清美	○	①	○	○
中野 國義	○	○	○	○
石井 定夫	○	○	○	○

○印は出席 ①印は半欠 ×は欠席

議 審 正 補

合併による 事務組合の解散に 伴う財産分与

木田香川地区町村
税滞納整理組合関係3
92万円余、讃岐地区
広域消防組合関係3億
8371万円余を雑入
処理。

地域包括支援センター 関係費用

介護予防を重視し、
地域において、リハビリ
やケアサービスなど地
域に密着した予防介護
サービスを行うもので、
今回運営費として42
8万円余を計上した。

消防業務 高松市への 委託料関係費用

委託料8109万円
余、高松市通信司令室
改修費2257万円余、
無線周波数変更費用4
35万円余、広域組合
通信司令室撤去費用4
14万円余、同端末リ
ース解約金310万円
など。

砂入保育園の施設 整備に助成金

施設改築費用として、
初年度に国の補助金で
3037万円余、町から
1518万円余を補助
するものである。工期は
2年で補助率は2分の1。

氷上小学校 2教室を増設

児童の増加に伴い教
室の改修費用として1
042万円。



▲改築される砂入保育園



▲2教室増設の氷上小学校

工事請負契約を締結

●工事名	農業集落排水事業井上南部地区 高野・鳥打駒足工区管路施設工事	●工事名	農業集落排水事業井上南部地区 山田1工区管路施設工事
契約方法	指名競争入札	契約方法	指名競争入札
指名業者	18社	指名業者	18社
契約金額	77,700,000円	契約金額	70,350,000円
契約の相手	山政建設株式会社	契約の相手	有限会社タイキウ

工事請負契約を変更

●工事名	三木町立白山小学校校舎大規模 改造工事
変更前の金額	181,650,000円
変更後の金額	191,777,250円
契約の相手	河西建設株式会社

議 案 審 議

指定管理者制度を導入

多様化する住民ニーズにより、より効果的・効率的に対応するために、公の施設の管理に民間活力を活用し、住民サービスの向上と経費の削減を図ることを目的とするものである。

問 業者は公募で募集するの。

答 総務課係長
県内、県外を問わず広く公募する予定だ。

問 業者選定の基準を示せ。

答 総務課係長
庁舎内に選定委員会を設置し、まず、基本方針を策定し各施設毎に条件などを提示して、公募をし、応募があった



▲指定管理者制度の対象となる三木町文化交流プラザ

中から、検討して業者選定をする。

問 条件が厳しくて、応募者がいなかった場合はどうするのか。

答 総務課係長
万が一のことも想定して、該当者がいない場合は、本町の出資している法人を選定できるようにしている。

問 民間業者が応募できやすいような条件にすべきではないか。

答 助役
コストダウンを中心に考え、聖域を設けずにできる限り民間活力を活用したい。

消防業務を高松市へ委託

問 どのような内容になるのか。

答 総務課係長
名称は三木消防署となり、31人体制となる。委託事務については必要に応じて、協議会を開くこととする。



▲三木消防署

可燃用指定ごみ 少人数用の20リットル販売実施

住民からの要望が強かった少人数世帯用20リットルの可燃用指定ごみ袋を、平成18年4月1日から販売したいというものである。

問 可燃用指定ごみ袋の現在の在庫状況は。

答 環境保全課係長
今までに作製したものは、平成17年の5月末には無くなっており、現在販売しているごみ袋は、今年度予算で作製したものであり、今後は、毎年作製する考えである。



議案審議

教育財産の一部占用使用

高松グランドカントリーより、山大寺西池から芝生散水用の水を取水するため、送水管を一定期間、三木町総合運動公園西サッカー場の敷地内に埋設したいとの申請があったものである。

問 占用使用における許可理由および過去時期についてどう考えているか。

答 助役

今回の場合、公共事業が原因でのゴルフ場の芝生散水用の代替水源であることなど町内企業の育成という総合的な観点から、超法規的な措置として許可をいたしたい。

また、使用期間については、異常渇水における本町の代替水源として、小川下池の水を上水道に転化供用することも視野にあることから、山大寺池の西池から取水せざるを得ないこととなるため、一定期間としており、特に年限は切っていない。



▲取水工事が進む西サッカー場

第3回 臨時議会

現有施設のまま引き継ぐ

人員	31人
車両	11台
基金	1億6,280万円余

- ① 職員の仕事は高松市消防局員に、労務管理、任命権は市にある。
- ② 本町の意見を反映するための協議会を設置する。
- ③ 運営については、覚書で具体的に取り決める。

職員給与

- ・配偶者手当 500円マイナス
(1万3500円→1万3000円)
- ・給与(月額) 0.3%引き下げ
- ・ボーナス 0.05か月引き上げ

去る11月16日の臨時議会で、職員給与の官民格差の均衡を図るため、国、県に準じて給与を改正した。
平成18年1月9日に讃岐地区広域消防組合が解散するため組合の財産を処分することになった。

讃岐地区広域消防組合の財産処分の内容は、建物、設備、車両は、各町がそのまま引き継ぎ、積立基金は、各町の負担割合に応じて、それぞれ払い戻しされた。

正副議長不信任案を

反対多数で否決

(賛成8 反対10)

讃岐地区広域消防組合の解散に伴う本町の消防業務の議会運営や高松市消防局、広域組合構成町への対応で混乱を招いたとして、正副議長不信任決議案が動議として提出された。

議案提出者は谷本サクミ議員。反対討論は溝渕清美議員が、賛成討論は古市弘、西丸二明、宮武貞夫、香西義典の各議員が壇上に立った。
三木和則議員は、決議案の取り扱い方、再発防止(懲罰の動議が出ないように)などの意見を述べた。



香西 義典 議員

質問 財政運営の改革は

答 果断に進めていく

平成18年度の予算編成に当たっては、三位一体の改革による地方交付税の削減などの影響により、毎年財源不足が予測されている。

そこで、より厳しい削減を考えているのであれば、その見直しについて事前に町民に明らかにし、説明責任を果たすことが大切だと思いが、町長の考えは。

町長

本町の新年度予算は、前例踏襲主義の廃止を大前提に、地方分権の時代を見据え、新たな行政需要への的確な対応や各事業予算の重点化等に心掛けることにしている。

そうした中で、限られた財源を最大限有効に活用することを基本として、編成したい。



▲公共事業は、優先度を判断し、一層の選択・重点化を図る

今後の職員削減計画の見直しについて伺う。

町長

今、関係団体と調整を進めているが、もう少し時間が欲しい。せつかくの制度が十分に活用されるよう努力をしている。

平成16年度決算で、町民1人当りの貯金と借金は。

総務課長

現在のところ、貯金9万円、借金25万3千円である。

「三木町新行財政改革大綱」の財政構造改革の進捗状況は。

政策情報課長

人件費の抑制では、定員管理の適正化に努めており、平成17年度は、年度途中の退職者を含めて、6名の職員が退職または退職予定である。

介護保険制度の見直し

見直し

今回の制度見直しにより、軽度の方々に提供されることとなる新予防給付の具体的なサービスとは一体どのようなものか。

町長

要介護認定者のうち軽度者を対象に、筋力向上トレーニング、歯磨きや義歯調整などの口腔ケア、栄養改善指導などを行う。

平成18年4月から制度化される地域包括支援センターの設置見込みは。

町長

年明けから支援センター準備室を庁舎内に設け、保健師、社会福祉士、主任ケアマネジャーなどの資格を有する職員の人材の確保と、平

成18年4月1日から支援センターの運営ができるよう鋭意業務を進めていきたい。

介護保険料の改正月額基準額はいくらか。

町長

平成18年度から平成20年度までの3年間は、4200円で実施したい。



▲新予防給付の導入により新たなサービスが待たれる



香西 茂知 議員

質問

合併しない方針に変化はないか

答

単独の町づくりに全力を注ぐ

単独でいくのか

9月26日塩江町の編入合併に始まり、平成18年1月10日には、庵治・牟礼・香川・香南・国分寺町が高松市と編入合併する状況のなか、考えに変化はないか。

町長

三木町は小さくても単独でいく。合併を望まないという声が圧倒的であったので、これまで歩んできたところである。

近隣町の合併が進んで、三木町だけが合併しないので不安を持っている町民もいる。賛否を問う住民投票をしようか。

町長

住民の代表である議員の意見を承って進めていきたい。

行財政改革の取り組みは

高松市と合併すれば議員も3、4人程度だと思う。現在議員数20人であるが、大幅に減らさなければと思っている。町の行財政改革の取り組みは。

町長

平成17年1月に策定した新行財政改革大綱に基づき、積極的に取り組んでいる。

国は、公務員削減を5年間で10%以上削減、給与を一律5%程度引き下げるが、本町では。

町長

本町の現在の職員数は201人で、条例定数に比較して17人、率にして7.8%少ないが、さらに5年間で4.6%以上の削減に努める。給与も抜本的な改革に取り組む。

今後どのような方針で進めるのか。

町長

平成18年3月までに新行財政改革大綱に基づく「行財政集中改革プラン」を策定し、改革を不転の決意で行う。

下校中の女兒が奈良県、広島県、栃木県で、殺害される事件が起きた。町の安全対策は。

教育長

9月には、町公用車による「移動子どもSOS」、ボランティアの車による「子ども安全パトロール中」の運動など、啓発監視に目を光らせている。

保護者も心配している。地域の人との協力のもとでの対応については。

教育長

三木町のホームページ「広報みき」に掲載して

情報提供やボランティア等の協力を求めている。高松東署・郵便局・消防団にも不審者対策の協力依頼をしている。



▲単独でいく三木町

一般質問



白井 正治 議員

質問 「ウエルサンピアさぬき」の存続に向けての见解は

答 第三セクターが望ましい

社会保険庁が全国に設置している厚生年金福祉施設の全てが、廃止もしくは売却されるということから、「ウエルサンピアさぬき」の存続を求める署名活動を行ったのち、国の関係機関などに署名簿の提出と併せて存続を要望している中で、存続に関する経過報告と現在の状況を示せ。

町長

存続に関する主な経過は次のとおりである。
 ・5月15日、各種団体の代表者や有識者からなる「ウエルサンピアさぬきの存続を願う会」の結成総会。
 ・6月から7月、存続を求める署名運動を展開。
 ・7月27日、4万8122名の署名簿に意見書、要望書を添えて厚生労働大臣に提出。
 ・10月1日、売却と廃止の業務を目的に「独立行政法人年金・健康保険福祉施設整理機構」

が設立。
 ・11月10日、当該整理機構の職員2名が、本町の意向を確認するために来庁。

現在の機能を将来にわたって維持していくために、町が一定割合の資金を出資し、民間事業者との第三セクター方式での取得、ならびに共同運営が望ましいと考えている。

今後の対応について
 见解を伺う。

町長

わが町にとって必要不可欠な施設であり、多くの地域住民に愛され利用される施設であり続けるための最善の方策を講じていく。

「ウエルサンピアさぬきの存続を願う会」の
 次回の開催予定は。



▲ウエルサンピアさぬき

町長

次回の総会は、平成18年4月頃を予定している。

戸籍・住民票などの不正取得事件を踏まえて

戸籍・住民票などの不正取得事件において、部落差別につながる身元調査に関して、町の見解を伺う。

助役

兵庫県・大阪市の行政書士が、「職務上請

ら2004年4月に1件の請求があった。
 不正取得事件後、担当課としての対応は。

助役

窓口での対応は、本人確認として身分証明書
 の提示を求め、郵送による請求については、内容を厳正にチェックし、不正使用防止に努めていく。

また、戸籍事務等の万全を図るため、法務局、県・関係市町と連携を取りながら取り組んでまいりたい。

今回不正使用した兵庫県の行政書士から、本町にも請求があったのかどうか。

助役

兵庫県の行政書士か



山本 繁 議員

質問

医療制度を国民本位に、市場原理の導入許さず

答

対策を講じていく

今日の医療制度の改革は、これからの日本の福祉国家から福祉国家になりかねない事態である。

日本ではご承知のように、国民皆保険制度のもと生活してきた。健康達成度総合評価では、健康寿命は第二位であり、優れた制度であり、これは守っていききたいと考える。

しかし、日本のGDP（国内総生産）に占める医療費の割合は、18位と非常に低くなっている。また、かつては総医療費に占める国庫負担率は30%であったが、今日では23%まで減少している。従って、この国庫負担率を元へ戻すだけで、国民の高い負担率は軽減される。

今日、多くの国民は、医療制度への不安から民間の保険への加入が20%も増えていると言われているが、町長の見解を伺う。

町長

政府が、11月30日にまとめた「医療制度改革大綱」は、増え続ける医療費を抑制するために、高齢者を中心とした負担増や「痛み」を強い内容となり、一方では、長期的対策として生活習慣病などの予防強化を盛り込む内容となっている。

介護保険料
3100円↓
4200円へ

鳴り物入りで導入された介護保険も、相次ぐ保険料の値上げで、高齢者の悲鳴が聞こえてくる。
せめて利用料の助成など考えられないか。

町長

生活弱者を含めた高齢者の心身の維持、保健、福祉、医療の向上のために包括的に行いたい



▲安心できる医療制度を

と考えている。



▲負担増の施設利用料に助成を(白山山荘)

BSE (牛海綿状脳症)は 本心に安心か

国民の7割が不安を訴えている米・カナダ産牛肉が、政府の輸入決定4日後には、早々と輸入されている。

もちろん条件として、生後20か月以下で特定危険部位が除去されたものであるが、見解を伺う。

町長

国による保障、また安全管理体制が確立されていると判断しており、安心して消費者が、牛肉を購入できるのではないかと考えている。

一般質問



芳岡 一美 議員

質問

総合型地域スポーツクラブの創設を急げ

答

活力ある町づくりのため育成に努める

住民主導の総合型地域スポーツクラブの準備が進んでいる。クラブ創設は、三木町の将来の活性化にとって不可欠であり、町長の考えを伺う。

町長

ニュースポーツなどの生涯スポーツのニーズも高まっている。

スポーツの持つ様々なメリットを最大限に活かす活力ある町づくりのため、総合型地域スポーツクラブの育成に努めていきたい。

スポーツクラブに対する行政としての取り組み、支援体制は。

教育長

総合型地域スポーツクラブは、大人から子どもまで、初心者でも参加できる幅の広い組織作りであり、今あるスポーツ・体協などの組織も大切にしながら、新しいコミュニティ型のスポー

ツの環境づくりに力を入れている。

準備委員会に対し、行政として具体的支援は。

生涯学習課長

設立準備委員会には、町職員もスポーツ関係各種団体からも参加し、共に進めている。

啓発活動の

具体的方法は。

教育長

体育指導員、スポーツ



▲スポーツクラブの子どもたち

関係者などによる先進地視察や研修会の開催をしており、町の広報にも掲載している。スポーツクラブ創設に躊躇しているわけではない。前向きに考えている。

住民のスポーツに対する意識・要望は。

教育長

ニュースポーツも含め何らかのスポーツをしている人は50%を超えており、スポーツに対する意識は高い。ニュースポーツを含めた総合型地域スポーツクラブができれば素晴らしいと思う。

町総合運動公園などスポーツ施設の指定管理者制度の導入の考えは。

町長

町総合運動公園は、今後前向きに検討していく。

AEDの早期導入を

運動中に突然倒れ、死に至るといふ事故が増えている。心臓に係わる突然死は、年間5万人といわれており、その原因のほとんどが心室細動といわれている。救命にはAEDが有効であり、小中学校やスポーツ施設への設置が急がれるが、対策を伺う。

教育長

18年度、公立高校は全て導入予定とのこと。県からは設置に関し指導は出ていないが、本町としては十分に研究しておく必要があると考える。

町長

救急・救命業務は重要であり、万全を期していきたい。スポーツ振興と併せて、住民の生命を守るため組織をあげて取り組み、AED設置に前向きに取り組む。



▲AED機器

※総合型地域

スポーツクラブ

子どもから高齢者まで誰でもが、気軽にスポーツを楽しめるよう、自主的に運営するスポーツクラブ。

※AED

突然死を防ぐことが出来る心臓電気ショックの機器。

決算特別委員会

9月定例会で、決算特別委員会に付託された16年度各会計決算は、21日の本会議で、古市弘委員長の閉会中の審査結果についての報告に続き採決が行われ、全会計決算が認定された。

指摘事項、関連質問は次のとおりである。



▲決算特別委員会の現地調査の様様

施設管理に
民間活力を

多様化する住民ニーズに、より効果的・効率的に対応するため、公の施設管理に民間活力を取り入れ、住民サービスの向上・経費の節減等を図るとともに指定管理者制度の早期導入に努められたい。

答 助役

可能な限り、民間活力の導入をした中でのアウトソーシング、PFIなどの取り組みを考えていく。

答

総務課課長補佐
今後の方針としては、福祉センター・文化交流プラザ・あけぼの荘の指定管理者制度導入を検討していく。

獅子舞フェスタの
見直しを

獅子舞フェスタについては、イベント業者の入札制度導入により、経費の節減・運営の合理化、マンネリ化の防止等を図り、恒久的なイベントにされたい。

答 産業振興課長

2200万円余の委託料を払っているが、なれた業者が安心。今後検討する。



▲にぎわう獅子舞フェスタ

答 町長

三木町の大イベントであり定着してきた。財政面を考慮しながら、効率的な内容にしていきたい。

滞納者に厳しく

町税及び住宅使用料における滞納対策については、その状況を把握し、特に悪質と認められる者については、法的手段をもって収納率の向上に努められたい。

答 税務課長

税金の滞納は年々増えている。担当者は収納率アップに努力している。

生活道路の整備を

道路網・生活環境整備として、町幹線道路の計画路線の整備を推進するほか、生活道路における未舗装道の解消、山間部路線の整備及び交通安全施設の充実を図られたい。

答 土木建設課長

ファクトリーパークへ通じる三木志度線は、平成20年開通予定である。

答 町長

ファクトリーパークへ通じる重要な路線であり、将来は志度側への開通も期待している。



▲工事が進む三木志度線

税金はどう使われたか

生かせ 8つの指摘



▲接続率アップが急がれる井上北部地区

健全な下水道事業の
推進を

公共下水道・農業集落排水事業の推進にあたっては、有利な補助制度を活用できる期間内に事業計画を立案するとともに、将来の財政計画を数値で示しながら事業を推進すべきであり、管理運営面では、供用開始後3年以内に計画対象全戸加入達成を目指し努力されたい。

住みたくなるまちづくり推進のため、今年の渇水を教訓に恒久的自己水源の確保を図るとともに、住民への節水意識の高揚にも努め、安全で安心できる清浄な飲料水を安定的に供給できるよう努力されたい。

自己水源の
確保を図れ

井上北部の農業集落排水事業のランニングコストを見ると接続率が重要である。現在の接続率は61%であり、平成20年までに接続率100%を目指し、管理費の節減に努めたい。

下水道事業は大事業であり、将来の財政計画をきちんとシミュレーションし、企業会計的な考え方を導入すべきであり、経営するということ考えて進めていく。

高齢化の進展する中、老人医療費等の節減を図るため、健康づくり・食育などの施策の推進に努められたい。

高齢化社会への対策を



▲自己水源のポンプ施設(山大寺)

町内の善意の井戸などの調査をした結果、かなりの自己水の確保が可能になり、一部契約をし、永久的な施設として使いたい。県水とのバランスもあり、健全に運営してまいりたい。

日中の警備については、学校、施設、地元の方々に守られていると思っ

教育総務課長



▲子どもSOSをつけた公用車

学校施設等における児童・生徒に対する安全管理対策の充実に努められたい。

子どもの安全対策を

高齢化に伴い給付費は年々増加しており、平成18年度から地域包括支援センターを設置し、介護予防に力を入れ、介護給付費を抑制していく。

※PFI
公共施設等の建設、維持管理、運営などを民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う新しい手法。

※指定管理者制度
法改正で公の施設管理について、民間経営やノウハウを活用し、住民への対応ならびにサービス向上を図る目的で、平成18年9月までに導入することになっている制度である。

おり、学校施設関係の防犯カメラの設置については検討していく。
夜間の警備対策費用との兼ね合いについては、今後検討していきたい。

委員会レポート

教育民生

4月1日から
支援センターが
スタート

高齢者の心身の健康維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要な援助、支援を包括的に行うため、地域包括支援センターを役場内に設置し、本年4月1日から運営するとの報告があり、これらについて質疑がなされた。

問 運営協議会の設置は。

答 健康福祉課長
三木町高齢者保健福祉計画策定検討委員会の委員をもって設置している。

問 町独自の支援事業及び運営経費は。

建設経済

長生水源地を廃止

答 健康福祉課長
当協議会において、本町の介護給付費の抑制や当該支援センターの事業運営について協議していく。
運営経費は、介護給付費の3%となつていますが、平成18年度については2%である。

介護保険料が
1100円UP

介護保険料の改定について説明があり、3年間を通して財政の均衡を保つこととされているため、今年度に見直しを行い保険料を決定したい報告があった。
本町の現在の基準額は3100円であるが、平成18年度から20年度までの介護保険料の算定では、基準月額が4200円である。

ている。

下水道推進

問 公共下水道事業計画について。

答 上下水道課長
公共下水道基本計画（事業認可）の見直し業務を契約金額577万5千円で、終末処理場建設用地買収に伴う不動産鑑定業務を契約金額100万8千円で委託した。

問 事業区域及び計画期間について。

答 上下水道課長
計画期間は、平成17年度から21年度、同計画の整備量は、公共下



水道が計画人口4500人、処理施設1か所、農業集落排水が計画人口3880人、処理施設1か所、事業費については、公共下水道が55億5200万円、農業集落排水が40億2494万円、合計95億7694万円、うち交付金が46億3987万円です。計画している。

追跡リポート

どう
なっとな?



① 計画町道の建設は怎么样了。

町道上池荒木線から百十四銀行横の砂入交差点につながる路線を整備せよ。
(平成15年度決算特別委員会の指摘事項)

町長答弁

進展中である。

測量は完了しており、交差点協議に入っている。今後は、地権者の承諾を前提に進展させていく予定である。

こうなっています。



一歩前進

交差点協議は、事前の了承を得た。今後は、琴電新設踏切の設置と用地取得を進展させていく予定である。



▲町道上池荒木線の路線整備を

② 総合体育館の建設を急げ。

三木中学校体育館を多目的利用できる施設として整備せよ。
(平成15年度決算特別委員会の指摘事項)

町長答弁

考えたい。



相当老朽化しているため、第4次三木町振興計画の中で検討したい。

こうなっています。

予算計上

改築を念頭においた建物として、平成17年度に「耐力度調査」も終わっており、三木中学校体育館としての基本計画構想を検討している。



▲改築が急がれる三木中学校

請願・陳情のゆくえ

平成17年 陳情第1号 ●墓苑用地拡張に関する陳情書

2月28日 提出者 鹿伏東自治会長 北 多田 均
同 南 中山 明 (不採択)

(不採択の理由)

助役：現在のところ町費で買収して整備事業を実施する考えはないが、今後は、他の市町等も調査をした中で、検討していかなければいけない課題であると考えている。

元気な

グループ紹介

健康で楽しい生活を仲間と活動することはとても大切なことです。各地区の公民館等ではいろいろな活動をしています。今回は、平木文化センターの「生花茶道教室」の紹介です。

笑顔が満開

「おはようございます。今日は何の花かいの？もうみんな来とるかいい？」と元気な声で、我が家のようにやって来ます。さあ、おしゃべりの始まりです。「まあ、なんとかな。へえ、おたしやこし、わつはあはあはあはあ」といった笑い声がセンター中に響き渡り教室が始まります。

平木文化センターでは、生花茶道教室を毎週水曜日、午前9時30分から、谷本光寛先生の指導をいただき開催しています。

生花も茶道も奥深いものがあり、四季折々の花・お茶の季節感を感じながら皆で楽しんでおります。また、生花・茶道と言えば堅苦しいイメージがし



特別企画

ZOOMUP!

気になるあの人、この人

自主防災組織づくりに 取り組む元気印の自治会長

佐治さんは「これまでは勤めにかこつけて、自治活動にあまり携わっていません。だったので、全く理解が不十分なままでのスタートだった」とふりかえる。

平成17年2月20日に文化交流プラザで開催された自主防災組織の結成大

会に参加した際、講演を聞いて、改めて命や財産、ライフラインなどに甚大な被害

をもたらす地震や台風などの災害に対して、普段からの備えの重要性を痛感

したそうです。

ご本人は、早速、自治会の自主防災組織づくりに

取り組みました。

「大規模災害時には、公助・共助・自助が必要だ。特に、共助としては自治会の

自主防災組織づくりが急務として、取り組んだ結果

組織化できた。自治会員のご理解とご協力に改めて感謝したい」と、佐治さんは

目を輝かせる。

一方で、本町が「合併はせず、単独路線を選び小さくてもキラリと光る町として発展して」ためには、事業の選択と集中など、今後いろいろなと厳しい対応が必要との広い認識を持っている人でもある。

「三木町で生れ育って、あつという間に60半ば近くになった。

もう少しで自治会長の任期も終わりますが、一人ひとりの備えとお年寄りや体の不自由な方への心配りが必要。

これからは、町当局の指導による自主防災活動の具体化と住民みんなの防災意識の継続が大事」だと語る。その前向きな姿勢は相変わらずである。

どうか、家族やご自身の健康に留意され、今後とも本町行政や地元自治会活動への積極的な参加をおおいに期待しています。

編集後記

昨年は11年ぶりの渇水で、四国の水瓶である早明浦ダムの貯水量が激減し、それを一気に解消したのは、台風14号での豪雨であった。自然の力を見せ付けられた▼耐震強度偽装事件では、コスト削減を図った構造計算書の偽造が発覚し、地震で倒壊の恐れがあるマンションやホテルが見つかった。購入者への補償などが問題となり、住宅の安全性に対する不安が広がった。競争や効率を優先したことが、こうした形で表れたのではないか。「安全」や「サービス」は、非効率なことでも行わなければならない▼今年も議会広報委員一同、町民皆様方に読まれる「広報紙」の発行に努めて参りたいと思います。新しい年が皆様方にとってすばらしい年になることを心からお祈り申し上げます。

(K・N)